

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 清水工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答																		
1	<p>設計番号 89 附帯工・雑工図面 43/47</p> <p>項目名は、交通規制工本線バリア通行止め規制 A(N)となっていますが、図面では、本線バリア通行止め規制 A、本線バリア通行止め規制 B の規制図が記載されています。交通規制工本線バリア通行止め A(N)には、A と B の両方が含まれるのでしょうか。</p> <p>また、数量表では、本線トマム IC～十勝清水 IC が 7 回、本線十勝清水 IC～芽室 IC が 23 回、連絡等施設十勝清水 IC が 7 回とありますが、図面の A 音更帯広 IC、B 占冠 IC・十勝清水 IC の数量は、3 箇所にとどのように内訳されるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>交通規制工本線バリア通行止め A (N) には、図面に記載された規制図 A, B が含まれており、内訳は下表のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">通行止め範囲</th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="3">規制箇所</th> </tr> <tr> <th>占冠 IC (規制図 B)</th> <th>十勝清水 IC (規制図 B)</th> <th>音更帯広 IC (規制図 A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>占冠 IC ～十勝清水 IC</td> <td>7 回</td> <td>○(下り車線)</td> <td>○(上り車線)</td> <td>×不要</td> </tr> <tr> <td>十勝清水 IC ～音更帯広 IC</td> <td>30 回</td> <td>×不要</td> <td>○(下り車線)</td> <td>○(上り車線)</td> </tr> </tbody> </table>	通行止め範囲	回数	規制箇所			占冠 IC (規制図 B)	十勝清水 IC (規制図 B)	音更帯広 IC (規制図 A)	占冠 IC ～十勝清水 IC	7 回	○(下り車線)	○(上り車線)	×不要	十勝清水 IC ～音更帯広 IC	30 回	×不要	○(下り車線)	○(上り車線)
通行止め範囲	回数	規制箇所																		
		占冠 IC (規制図 B)	十勝清水 IC (規制図 B)	音更帯広 IC (規制図 A)																
占冠 IC ～十勝清水 IC	7 回	○(下り車線)	○(上り車線)	×不要																
十勝清水 IC ～音更帯広 IC	30 回	×不要	○(下り車線)	○(上り車線)																
2	<p>附帯工・雑工図面 9/47</p> <p>金抜き設計書の数量は 354m² ですが、図面に記載の数量表の合計は、359m² となっています。どちらが正でしょうか。354m² が正しい場合、①～⑦の数量もご教示願います</p>	<p>コンクリートブロック積の数量については金抜設計書が正しい数字です。(別添①正誤表参照)</p> <p>上記については、後日、公告図書を訂正します。</p>																		

番号	質問事項	回 答																		
3	<p>特記仕様書 P31 28-3-4、特記仕様書 P33 28-5-1 構造物掘削、基礎杭の施工において、特記仕様書で、掘削した土は本線盛土箇所下部路体部に運搬、とありますが、同じ場所でしょうか。 また、本線盛土箇所下部路体部の一はどこでしょうか。 ご教示願います。</p>	<p>近傍箇所での盛土下部路体として使用するか、別の箇所での盛土下部路体とするかは御社での土配計画に基づき判断ください。</p>																		
4	<p>設計番号 50、51 マルチング工で使用のマルチング材の厚さ、端部処理の有無、図面の記載場所、をご教示願います。</p>	<p>図面の記載場所については、共通仕様書 14-6-7 (2) 種別に記載のとおり、造園施設標準図集 (下表) の該当するページを参照ください。</p> <table border="1" data-bbox="1227 715 2074 863"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>造園施設標準図集</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シートマルチング (ロール) Type E</td> <td>SMR-E</td> </tr> <tr> <td>シートマルチング (ロール) Type F</td> <td>SMR-F</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、マルチング材の厚さ、端部処理の有無については造園施設標準図集に記載のとおり下表のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="1227 962 2056 1110"> <thead> <tr> <th>単価</th> <th>名称</th> <th>厚さ (mm 程度)</th> <th>端末部処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Type E</td> <td>SMR-E</td> <td>3.0~5.0</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>Type F</td> <td>SMR-F</td> <td>3.0~5.0</td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	造園施設標準図集	シートマルチング (ロール) Type E	SMR-E	シートマルチング (ロール) Type F	SMR-F	単価	名称	厚さ (mm 程度)	端末部処理	Type E	SMR-E	3.0~5.0	無し	Type F	SMR-F	3.0~5.0	有り
単価表の項目	造園施設標準図集																			
シートマルチング (ロール) Type E	SMR-E																			
シートマルチング (ロール) Type F	SMR-F																			
単価	名称	厚さ (mm 程度)	端末部処理																	
Type E	SMR-E	3.0~5.0	無し																	
Type F	SMR-F	3.0~5.0	有り																	
5	<p>設計番号 68、69 手摺工 A・B で使用する材料の名称、規格、数量が、附帯工・雑工の図面 18/47 で確認しきれないため、ご教示願います。</p>	<p>手摺工で使用するビームなどの個別材料の必要数量については図面より数量を算出願います。個別材料の規格については、図面に記載のとおりです。</p>																		

番号	質問事項	回 答
6	<p>設計番号 44～47 路面切削工 A・A(N)、オーバーレイ工 A・A(N)で、舗装改良工図面 1～6/66 の旗揚げの数量を合計すると、金抜き設計書の数量と合致いたしません。どちらが正か、ご教示願います。</p>	<p>路面切削工 A・A(N)、オーバーレイ工 A・A(N)については、図面の数字が正しい数字です。(別添②正誤表参照) 上記については、公告図書を訂正します。</p>
7	<p>特記 清水工事の経費工種は「修繕 一般土木」適用でよろしいでしょうか御教示願います。</p>	<p>土木工事積算基準 6-1 「間接工事費算定の適用工種区分」に記載のとおり、「一般土木(新設工事)」です。</p>
8	<p>特記 P3 6-1-1 土取場図において、②日勝峠土取場と③新内土取場の本線部盛土箇所までの工事用道路としてのルートがわかりません。使用道路と距離の御教示願います。</p>	<p>土取り場から、2/48 に記載のある工事用道路までのルートについては、御社における施工計画に基づきルート選定を行ってください。</p>
9	<p>特記 P3 6-1-1 日勝峠土取場と新内土取場の客土掘削における数量明細表と図面(⑥-1、⑥-4)から土質の明記がなく判断できません。土質区分と土量の御教示願います</p>	<p>両土取場ともに土質区分は「土砂 B」を想定しております。 土取可能量は特記仕様書 6-1-1 に記載のとおりとなります。</p>
1 0	<p>特記 P15 16-5 盛土工 A 他に使用する購入骨材において、切込砂利・切込碎石(40-0、80-0)の設定されている土量変化率「L」及び「C」を御教示願います</p>	<p>御社の計画で使用する材料に適した土量変化率を設定ください。 なお、発注者が想定している材料の土質区分は「土砂 F(標準土量変化率「L:1.15」/「C:0.95」)」です。</p>
1 1	<p>特記 P29 28-3-2 購入材の数量は、地山、ほぐし、締固めのいずれの検測でしょうか、御教示願います。</p>	<p>盛土工の検測は、共通仕様書 2-7 の記載のとおり、盛土検測(締固め)です。</p>